

シンポジウム  
哲学・倫理・宗教思想  
日本とフランス：交差する視点 — II

PHILOSOPHIE, ÉTHIQUE, LOGIQUE ET PENSÉE RELIGIEUSE - REGARDS CROISÉS FRANCO-JAPONAIS -

平成18（2006）年12月9日（土）  
お茶の水女子大学 共通1号館202室

【参加無料、使用言語：英語 仏語（日仏通訳付き）】

●開会式 (9:00-9:30)

●講演会 講演 討論 (9:30-10:30)

イヴ・シュワルツ (エクス・アン・プロヴァンス大学教授)

「活動概念に関する文化史の概観」

"A SHORT INSIGHT ON CULTURAL HISTORY OF THE CONCEPT OF ACTIVITY"

●セッション 発表 討論 (10:40-17:00)

テーマ： 言語と思想 Language and Thought

発表

日本： 頼住 光子 (お茶の水女子大学助教授)

「日本の大乘仏教における倫理と言語」

"Ethics and Language in Japanese Mahayana Buddhism"

小濱 聖子 (お茶の水女子大学博士後期課程)

「禅の対話に関する研究」

"A Study on Zen Dialogue"

石崎 恵子 (お茶の水女子大学博士後期課程)

「西田哲学と言語」

"Nishida's Philosophy and Language"

(昼休み 12:00-13:30)

フランス： エマニュエル・カタン (ブレーズ・パスカル大学教授)

「神の名前」

"The names of God"

エリザベート・シュワルツ (ブレーズ・パスカル大学教授)

「ヴィトゲンシュタインによる西欧文化への批評における思考と言語」

"Language and thought in Wittgenstein's assessment of the contemporary occidental culture"

ローラン・ジャフロ (ブレーズ・パスカル大学教授)

「内的言説と道徳哲学・ストア的独語」

"Inward discourse and moral philosophy: The Stoic soliloquy"

アラン・プティ (ブレーズ・パスカル大学助教授)

「プロティノスの思想におけるロゴス、思考、内省」

"Logos, thought and reflexivity according to Plotinus"

中村 俊直 (お茶の水女子大学教授)

「言語そして／またはイメージ — 北斎を賞賛するヴァレリー」

"Langage et/ou Image --Valéry admirateur d'Hokusai"

●閉会式 (17:00-17:15)